

事業所名

児童発達支援事業所・放課後等デイサービス 幹らんど

支援プログラム

作成日

令和7年

3月

27日

法人（事業所）理念		「幹」という名前には「太く強く生活を支える存在でありたい」という私どもの想いを込めています。「さまざまな世代の人たちが住み慣れた地域で自分らしく生きる」ことができるよう支えていきたいと思っています。辛いことや悲しいことがあっても、ほんの一瞬でも笑顔になれる瞬間があれば生きていけるのではないかと、安心して話せる場所があればホッとしてその「笑顔の瞬間」を感じることができるのではないかと、そんな想いで「幹」の理念を「笑顔の瞬間」としました。					
支援方針		自然の中で子どもの意欲をひきだす。 遊びや生活を通して成長発達を促す					
営業時間		8時	45分から	16時	45分まで	送迎実施の有無	児童発達支援:無 ・ 放課後等デイサービス:有
支援内容							
本人支援	健康・生活	登園時に家族と子どもの健康状態について情報共有し、必要な医療的ケアを実施します。子どもの成長発達に応じて、身の回りのこと（日常生活動作）ができるよう支援します。空間が子どもにわかりやすいように生活環境を整えます。自宅で入浴が困難な子どもの入浴支援を行います。 活動・支援例：健康チェック、視覚支援、持ち物の片付けや準備、おやつ、排泄、更衣、身だしなみの確認、食事支援					
	運動・感覚	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、公認心理師と情報共有しながら、子どもの特性を理解した成長発達を支援します。畳の上での生活を大切にすることで、手や足から五感を養うとともに体幹や四肢の筋力アップを図ります。好ましい姿勢や身体や手先の使い方のコツを伝えます。 活動・支援例：近隣の公園にある滑り台での感覚統合遊具での遊び、砂場、絵具・小麦粉粘土・寒天などの感覚遊び、運動機能訓練や好ましい座位姿勢の保持、散歩で、季節の移り変わりを五感を使って感じとる。農園体験。					
	認知・行動	視野を広げ、視力を育てるかわかりを大切に、活動を通して情報や刺激を得ることができるよう支援します。活動内容を理解しやすくかわかり、自主的な行動につなげます。個々の特性に配慮した支援を行います。 活動・支援例：絵本の読み聞かせや食事の場面で、視覚から情報を得ることができるよう眼鏡や補聴器などの装着を無理強いせずに促す					
	言語コミュニケーション	ジェスチャーや手差し、表情などの理解から意志の伝達の楽しさを一緒に感じながら、子どもの言葉につながるようかわかります。 活動・支援例：絵本の読み聞かせやおやつなどの場面での選択や要求（ちょうだい）の表出、手話や指文字の活用					
	人間関係社会性	他者との遊びややりとりを楽しめるよう集団活動への参加を促します。お友だちとの遊びの中で適切なやりとりを知って楽しむことや気持ち・情動のコントロールを促します。 活動・支援例：模倣や触れ合い遊び、発達段階に合った遊びの提供、お友だちとのやりとりや簡単な交渉、異年齢保育を実施して、思いやりの気持ちを育む。					
家族支援		幹はうす松江との交流機会が、家族の交流の場となっています。育児全般の相談支援の他、きょうだいに対する相談支援も実施しています。		移行支援		子どもの成長発達に応じて、より適した環境への移行や家族の希望に沿いながら、関係機関と連携しながら支援します。	
地域支援・地域連携		インクルーシブな社会の実現に向けた地域との交流機会となるような屋外活動（社会見学）を計画し、実施しています。		職員の質の向上		研修への参加方法（対面かzoom）を選択でき、録画視聴など研修の履修や復習ができるため、自己研鑽には適した環境です。職員の日頃の活動や成果を学会等に参加し、発表しています。	
主な行事等		遠足、お花見、農園での自然体験、子どもの日、夏場のプール遊び、納涼祭、図書館での活動、防災・防犯・避難訓練、Xmas会、節分、ひな祭り、卒園式 幹はうす松江と共催：七夕のお焚き上げ、運動会、秋祭り、餅つき大会、お別れ会					